

情報公開用文書

(多施設共同研究用)

西暦 2024 年 9月 2日 作成

研究課題名	頚椎前方手術の術中エコーにおける脊髄拍動の定量的評価
研究の対象	2017年8月1日から2020年7月31日までに横浜市立大学附属病院および横浜南共済で頚椎変性疾患に対して頚椎前方除圧固定術を受けた方
研究目的・方法	頚椎疾患は、その脊柱管内を通る脊髄や枝分かれである神経根が、骨の棘や靭帯骨化、椎間板ヘルニアなどに圧迫されることによって症状を呈するものです。外科的治療の目的は、その圧迫を解除（除圧）することによって、脊髄・神経根にとっての環境を改善し、症状を回復させることです。よって、手術は十分に除圧されることが重要であり、術中に除圧の状態を確認するために、手術中のエコー検査が通常行われています。また除圧された脊髄は拍動していることが分かっています。この拍動を2次元動画解析を行うことで、定量化することが目的です。
研究期間	承認日 ~ 西暦 2025年 6月 30日
研究に用いる試料・情報の種類	病歴、治療歴、手術中に除圧を確認するために施行したエコー動画、検査データ（術前後のレントゲン、CT等）等を研究に使用します。
外部への試料・情報提供	横浜市立大学附属病院へ試料・情報提供を行います。
外部からの試料・情報の取得と保管	外部からの資料・情報は、匿名化したうえで、記録媒体で提供をうけます。横浜市大整形外科教室で、匿名化されたデータは、インターネットから独立したパソコンにパスワードをかけて保管します。研究代表者、研究責任者は、本研究に関連する記録を本研究の終了について報告された日から5年を経過した日、又は本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日まで適切に保管します。この期間が終了後以降、データについてはハードディスクの消去、記録メディアの破壊を行い、紙データについてはシュレッダーを用いて廃棄します。
研究組織	主たる研究機関：横浜市立大学附属病院 整形外科 伊藤 陽平 共同研究機関： 横浜南共済病院 整形外科 三原 久範

情報公開用文書

(多施設共同研究用)

	<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>
	<p>〒236-0037 横浜市金沢区六浦東1-21-1 横浜南共済病院 整形外科 三原久範 電話番号：045-782-2101（代表）</p>